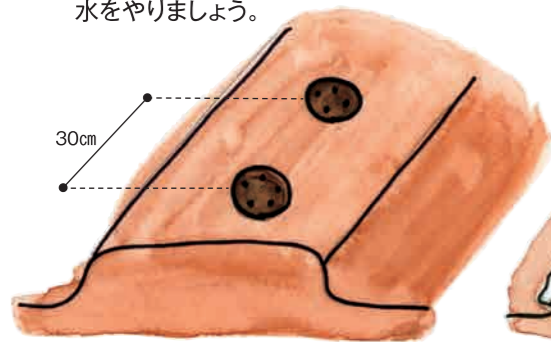
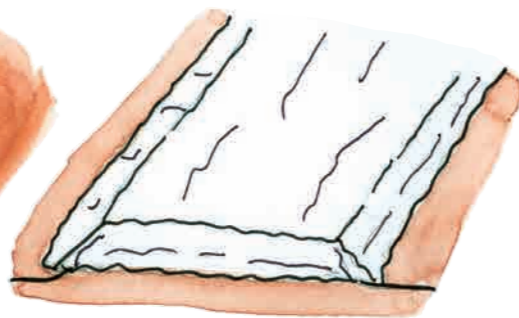


### 3 種まき

まき穴1つに種を4~5粒まきます。土をかぶせたらたっぷり水をやりましょう。



芽が出るまでは鳥除け、虫除け、乾燥防止のために、不織布で畝を覆います。



#### ポイント

耐寒性が低下し、寒害や凍害を受けやすくなるので、早くまきすぎないように注意しましょう。小苗で寒さに当てると花芽を付けるので、草丈10cmほどで越冬させ、寒さに当てるようにすると、よく育ちます。

### 4 間引き

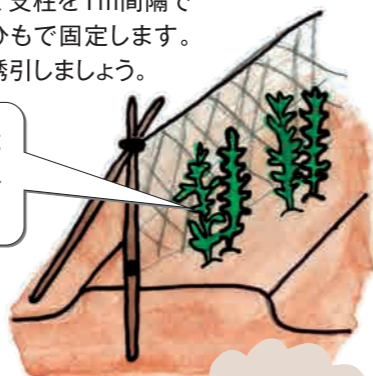
種まきをしてから3週間ほど経ち、本葉が3~4枚になったら間引きをして、2本仕立てにします。間引いたら株元に土を寄せましょう。



### 支柱立て・誘引・わき芽取り

1回目の追肥をした後、支柱を1m間隔で立ててネットを張り、ひもで固定します。ネットの網目につるを誘引しましょう。

一度誘引すると成長とともに自然にネットに絡みついていきます。

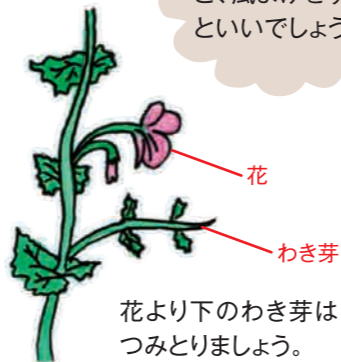


冬は北側にわらの束を垂らすなど、風よけをするといでしょう。



#### ☆こんな支柱立てもできます

支柱を立ててひもを渡します。



花より下のわき芽はつみとりましょう。

### 5 追肥

#### 1回目

春先につるが伸び始めた頃、株の周囲に追肥をします。追肥したら、株元に土を寄せましょう。

●目安 1㎡当たり 化成肥料 30g



#### 2回目

花が咲き始めた頃、1回目の追肥と同じように施します。

●目安 1㎡当たり 化成肥料 30g



### 6 収穫

手で引っ張るとプチッと音がして簡単に収穫できます。



#### ポイント

取り遅れるとサヤが白っぽくなり、硬くなってしまいますので、こまめに収穫しましょう。実エンドウは完熟してから収穫します。

# 家庭菜園教室

今日は エンドウ



楽しく収穫!

エンドウはさまざまな種類がありますが、栽培方法は似ています。冬の寒さに当てると、暖くなる春によく伸びます。幅広い用途で楽しめるので、家庭菜園で何本か植えておくと重宝するでしょう。

### 1 エンドウいろいろ

#### ★スナップエンドウ

豆を大きくしてサヤごと食べる。サヤが緑色になり、実が充実している時に収穫する。



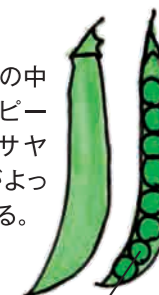
#### ◆キヌサヤエンドウ

未熟なサヤを食べる。サヤが硬くなる前、実のふくらみがわずかに見えるようになったら収穫する。



#### ♥実エンドウ

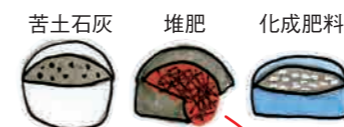
完熟させてサヤの中の豆(グリーンピース)を食べる。サヤの表面にしわがよってきたら収穫する。



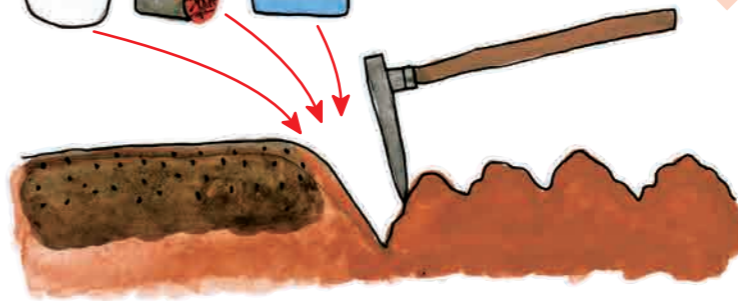
グリーンピース

### 2 畑の準備

種まきの約2週間前に苦土石灰、堆肥を混ぜておきましょう。その後、種まきの約1週間前に化成肥料を混ぜてよく耕します。



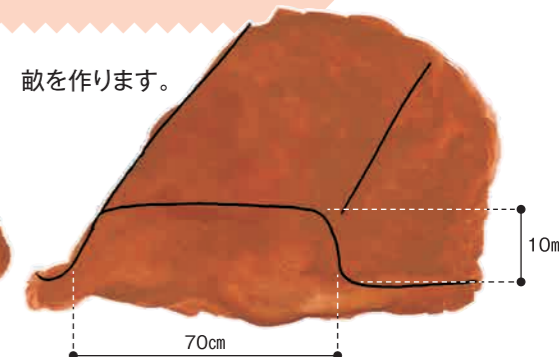
●目安 1㎡当たり  
苦土石灰 150g  
堆肥 2kg  
化成肥料 50g



#### ! 注意!

エンドウ類は連作すると病気が発生しやすいため、3年~4年以上、エンドウ類を栽培していない畑にしましょう。

畝を作ります。



#### ♣栽培カレンダー

露地栽培	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		← 収穫 →					← 種まき →					